

V 特別支援教育研究連合 各ブロック部会

「この研究は公益財団法人日本教育公務員弘済会
宮崎支部からの助成金を受けて行っています」

宮崎ブロック部会

1 研究主題(テーマ) 「教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について」

2 活動内容

(1) 組織

宮崎地区特別支援教育研究会と東諸県地区特別支援教育研究会、宮崎市内の県立特別支援学校5校(明星視覚、赤江まつばら、みやざき中央、みなみのかぜ、清武せいりゅう)

(2) 活動内容

期 日	事業名	活動の内容	会 場
1 1月6日(金)	県特研連宮崎ブロック 第1回役員会	・令和元年度の活動報告 ・令和2年度の計画・予算検討	広瀬中学校
1 2月18日(金)	県特研連宮崎ブロック 第2回役員会 (コロナ感染予防のため、 書面決議に変更)	・役員組織及び役割分担ローテーションについて ・令和2年度の会計について	広瀬中学校
2月2日(火)	県特研連宮崎ブロック 第3回役員会	・本年度研究のまとめ	生目の杜遊古館

3 本ブロック会の成果と課題

(1) 研修会

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のために、なかなか第1回の役員会が開催できず、実質2学期(11月)からの活動となった。また、全体会や活動の中心となる研修会についても実施できず、役員会のみを行った。

役員会では、宮崎市小中学校特別支援教育研究部会と連携して、来年度以降の役員組織と役割分担のローテーションを見直し、新しい組織作りに取り組んだ。

また、活動内容として、宮崎ブロック部会の規約等の確認をはじめ、本年度から「ふれあい作品展」や「なかよし発表会」の活動を中止したことを確認した。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、授業研究会や特別支援学校の授業参観が中止になったことから、今後の研修の在り方等について検討を行った。ただ、明確な方向性を決定することができなかつたため、今後も継続して検討していきたい。

また、会計の仕事の簡略化を図るために、通帳を1冊に統一し、新たに会計用の印鑑を準備した。

本部会は、宮崎市、東諸県地区、県立特別支援学校と組織が広範囲であり、新型コロナウイルス感染症の影響で、しばらくは全体会の開催が難しいと考えられるため、本年度内に、次の学校へ新役員の引継ぎ等をしておく必要があると思われる。

南那珂ブロック部会

1 研究主題

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対応する教育の専門的指導力の向上と小・中学校等における特別支援教育の充実を図る。

2 活動内容

期 日	活 動 内 容	場 所
5月13日	○ 第1回南那珂ブロック部会役員会 ・ 総会、研修会について ・ 昨年度事業報告 ・ 今年度事業計画及び予算案について ・ 第23回研究大会の実施について → 中止	日南くろしお 支援学校
8月3日	○ 第2回南那珂ブロック部会役員会 ・ 研修会実施について（日時、開催形式など） ・ 総会（書面議決）について ・ 各地区研修充実費の活用について	日南くろしお 支援学校
8月中	○ 南那珂ブロック部会総会（書面決議）	FAXにて回答
11月21日	○ 第3回南那珂ブロック部会役員会 ・ 研修費充実費活用計画について ・ 南那珂ブロック部会教材活用集の作成について	日南くろしお 支援学校
12月～1月	○ 南那珂ブロック部会教材活用集作成期間	各学校
2月	○ 第4回南那珂ブロック部会役員会 ・ 今年度活動反省、事業報告及び決算報告 ・ 次年度活動内容検討 ・ 南那珂ブロック部会教材活用集配布	日南くろしお 支援学校

3 本ブロック部会の成果と課題

本年度は、7月に宮崎県特別支援教育研究連合研究大会を実施する予定であり、当初から研究大会を研修会と兼ねる予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県大会が中止となった。その後、南那珂ブロック部会研修会において、県大会で発表予定であった日南振徳高校の通級指導の実践や合理的配慮についての研修を再度計画したものの、こちらも中止となっている。

今年度の南那珂ブロック部会では、研修充実費を活用し、各地区の特別支援学級と日南くろしお支援学校の各学部で授業づくり、生活指導に役立つ教材・書籍を購入し、実践することを主な活動とした。特別支援教育に初めて携わる教員や、日々の生活指導、学習指導においてどのような指導を行えば良いか分からないという教員も多くいることから、購入した教材や書籍についての情報や活用内容を南那珂地域で共有することができるよう、教材活用集の作成に取り組むことができた。来年度以降の特別支援教育の参考資料としてそれぞれの学校で保管、活用していく予定である。生活指導や授業づくりなど、今後の南那珂地域の連携を図りながら、特別支援教育の充実を目指していきたい。

都北ブロック部会

1 研究主題（テーマ）

「児童生徒の特別な教育的ニーズに応じた指導はどうあればよいか。」

「児童生徒の実態に応じた交流教育はどうあればよいか。」

2 活動内容

（1）活動内容及び計画

月	日	会の内容	場所
4	9（木）	○ 特別支援学級担当者等の調査（事務局）	※調査はF a xにて
4	28（火）	臨時事務局・役員会	都城市立祝吉中学校
4	28（火）	○ 担当者会 【中止】	高城生涯学習センター
5	26（火）	○ 定期総会 【中止】	高城生涯学習センター
6	18（木）	○ 第1回事務局・役員会 ・新旧引継ぎ、総会資料検討 ○ 総会（紙上開催）	三股町立三股中学校
8	4（火）	○ 山田・高崎地区担当者会 ○ 沖水・志和池・庄内地区担当者会	都城市立高崎中学校 都城市立沖水中学校
11	25（水）	○ 授業研究会【五十市地区】 【中止】 ○ 実践報告集の製本発行	都城市立西小学校予定 ※都城市立木之川内小学校にて集約製本
1	14（木） ～ 18（月）	○ 合同作品展前日準備 【中止】 ○ 合同作品展・作品撤去 【中止】 ○ 地区別交流学習会 【中止】	都城市ウエルネス 交流プラザ
2	18（木）	○ 第2回理事・事務局会 ・年間活動の反省、及び次年度に向けての協議	三股町立三股中学校

3 本ブロック会の成果と課題

（1）成果

- 今年度はコロナ禍にあり、教育講演会をはじめ研修会や授業研究会を実施できなかったが、各校で独自の授業研究会や小、中連携をリモートで開催したり、W e b教材を活用して、児童生徒の実態や特性を理解するための動画視聴による研修をしたりした。
- 児童生徒用のタブレットが普及している学校では、校内で活用可能なアプリによる自立活動の工夫や、タブレットを活用した教科学習活動に関する取組の工夫が見られた。
- 各校における合理的配慮の工夫について実践例の集約を行った。

（2）課題

- 教育講演会や合同作品展、地区別交流会など、コロナ禍の影響で実施できなくなった行事があった。次年度以降もコロナウイルス感染防止に向け、新しい生活様式を取り入れた研修及び行事の工夫と活動の精選が求められている。混沌とした社会情勢により、児童生徒を取り巻く学習環境も変化しているが、特別支援教育の観点から教育的ニーズに応じた取組を工夫していきたい。
- 地区内にタブレット等の情報機器の普及には、大きな学校間格差が生じていたが、令和3年度から校内の無線LAN化が図られることになっている。しかし、機器や施設が充実する一方で、特別支援教育に関するコンテンツの活用やその充実が図られていない現状がある。また、情報機器を有効利用できる教師が不足している現状もあり、今後の早急な研修が求められている。
- 特別支援学級に所属する児童生徒は、前年度比で約80名増、同学級数は16学級増設により、新規に特別支援学級を担当することになった教師も多数いる。また、元々専門的な資格や免許を所持していない教師が多い上に、今年度は、研修会等も実施できない現状があり、日々の教育実践で苦勞している会員が多かった。会員相互の交流や研修の必要性を感じるが、会員が学校や支援学級を離れることすら難しい児童生徒の事情もあり、研修機会の在り方を工夫していきたい。

西諸県ブロック部会

1 研究主題

「児童・生徒の実態に即した効果的な指導はどうあればよいか」

2 活動内容

期日（曜日）	事業内容	場 所
4月21日（木） 中止 総会資料送付	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回研修会（総会） <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画案及び予算案審議 ・ 役員選出（西諸特研役員・運動会実行委員） ○ 合同運動会打ち合わせ ○ 引継ぎ 	小林中央公民館
5月15日（金） 3役で実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画確認 ・ 会計引継ぎ 	栗須小学校
6月8日（月） 中止	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合同運動会前日準備 	小林中央公民館
6月9日（火） 中止	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合同運動会 	小林中央公民館
12月10日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会の準備 ○ 第2回研修会（教育講演会） 	小林中央公民館
2月8日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会の準備 ○ 第3回研修会（全体⇒分科会） 	小林中央公民館
3月4日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度反省並びに次年度計画案検討 	栗須小学校

3 本ブロック会の成果と課題

（1）成果

12月10日（木）に、教育講演会をリモートで行った。講師には大阪市立大空小学校の初代校長を務められた木村泰子先生にお願いした。演題は『みんなの学校が教えてくれたこと～いつもいっしょがあたりまえ～』とし、特別支援教育の在り方をみんなで考えるきっかけとなった。途中、先生方からの質問にも答えていただきながら約2時間の講演を終了することができた。

今年は、コロナ感染予防のため研修の機会も減ってしまっていたので、リモート講演会は先生方から好評だった。今年度実施してみて、遠方の先生方のお話も地方にいながら聞くことができるので、リモートの良さを実感した。

（2）課題

来年度も同じような状況が続くのであれば、合同運動会も中止にせざるを得ない。運動会の在り方を工夫したりそれに代わる新しい行事を考えたりする必要がある。これにもリモートを使って子ども達が交流できるような催しができるといいと思う。

児湯ブロック部会

1 研究主題（テーマ）

「 一人一人の教育的ニーズに応え、持てる力を高める特別支援教育の充実 」

2 活動内容

- ・ 役員会（年2回）運営及び会計業務
- ・ 令和2年度宮崎県特別支援教育研究連合児湯ブロック部会の企画
- ・ 令和3年度宮崎県特別支援教育研究連合児湯ブロック部会の計画・検討

月	日	会議及び活動内容	県特研連関係
3	26	・事務局引継ぎ	
4	下旬	・6月の役員会の内容検討	
5	28		・第1回理事会及び代議員会（総会）
6	2	第1回役員会 ・令和2年度役員の確認 ・令和元年度事業報告、収支決算報告 ・部会会則及び部会の運営に関する確認 ・令和2年度事業計画、収支予算案審議 ・令和2年度研究大会に関する検討（新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止の判断） ・第1回事務局会及び事務局連絡会報告	
6	5	・令和2年度児湯ブロック研究大会の中止について（文書配付）	
7	29	（中止）	・県特研連研究大会（南那珂ブロック）
8	6	児湯ブロック部会研究大会（中止） ＜研究発表＞ ○ 県立児湯るびなす支援学校 隈田原 聡 教諭 ＜講演＞ ○ 都城市立西小学校 石本 隆士 指導教諭	
10	29		・第2回事務局会及び事務局連絡会
12	下旬	・令和2年度収支決算・会計監査	
1	下旬	・西都・児湯地区各校・るびなす支援学校で第2回役員会内容についての協議	
2	8	第2回役員会 ・令和2年度事業報告、収支決算報告審議 ・令和3年度事業計画案、収支予算案審議 ・児湯ブロック部会の運営に関する検討 ・令和3年度役員の確認 ・令和3年度宮崎県特別支援教育研究連合児湯ブロック研究大会に関する検討	
2	18		・第3回事務局会及び事務局連絡会

3 本ブロック部会の成果と課題

8月の児湯ブロック研究大会が新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止になったため、研修の機会が得られなかった。県特研連の組織改編を踏まえ、次年度以降の児湯ブロック部会の運営や研究大会の在り方について熟考していく必要がある。役員会での審議内容については事務局から各地区へ早めに連絡し、協議できるようにすることが課題である。

日向・東臼杵ブロック部会

1 研究主題（テーマ）

日向・東臼杵ブロック部会は、宮崎県特別支援教育研究連合（以下、県特研連）の会員並びに趣旨に賛同する者で部会役員会の承認を得た者を会員とし組織されている。

具体的には、日向ひまわり支援学校長及び職員、日向・東臼杵地区（日向、門川、入郷）小・中学校（計 37 校）の学校長及び特別支援学級職員の会員をもって構成され、同地区の特別支援教育を推進し、会員の資質向上と連携を図ることを目的とする。

その目的を達成するために次の事業を実施している。

- 合同研修会、運動会、作品展の開催
- 特別支援教育に関する調査研究
- その他、本ブロック部会及び県特研連の目的達成に必要な事業

2 活動内容

(1) 活動内容

① 活動計画

期日	事業名	場所	主な内容
令和2年 8月5日（水）	総会	日向ひまわり 支援学校	令和元年度事業報告 令和元年度決算報告・監査報告 令和2年度事業計画案 令和2年度予算案 県特研連組織、ブロック部会規約他
	合同研修会	日向ひまわり 支援学校	講演・講義及び演習
令和2年 10月下旬	なかよし運動会 ・交流会	サンドーム 日向	日向地区小・中特研の特別支援学級 及び日向ひまわり支援学校合同運動会
令和3年 2月11日（木） ～2月23日（火）	なかよし アート展	日向市 中央公民館	各学校の児童生徒作品及び学校紹介パ ネル等の展示・紹介

(2) 事業報告

- ① 8月5日 「総会及び合同研修会」 → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ② 8月17日 「日向・東臼杵ブロック部会代議員会」
→ 同上の理由により中止 書面議決による総会代替へと変更
→ 10月14日 書面議決にて総会議案を決議
- ③ 10月下旬 「なかよし運動会・交流会」 → 同上の理由により中止
- ④ 2月11日～23日 「なかよしアート展」 → 同上の理由により中止

3 本ブロック部会の成果と課題

本年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮及び感染者数増加の影響を受けて、計画していた上記「(1) 活動内容 ①活動計画」の全てが中止・変更となった。その中で、総会については理事・代議員による書面議決を行い、議案決議を得ることができた。

次年度の活動計画については、今後の感染動向を注視し、新型コロナ禍及びアフターコロナにおける諸活動の在り方について、実施に向け模索をしながら進めたいと考えている。

県北ブロック部会

1 研究主題（テーマ）

県北地区における児童生徒一人一人のニーズに応じた支援の在り方

2 活動内容

本年度も延岡地区と西臼杵地区内の特別支援学校と小中学校の連携を緊密にするとともに、特別支援教育に関する実践研究・調査研究及び特別支援教育の充実・振興を図ることを目的として、以下の活動に取り組む予定だったが、感染症防止の観点から、計画のほとんどが中止となった。

期 日	事 業 名	主 な 内 容
6月25日（月）	第1回事務局会	・令和元年度の事業報告、決算報告 ・令和2年度活動方針について ・令和2年度の事業計画、予算案 ・総会、夏季研修会について
例年夏季休業中に開催	県北ブロック部会 総会 夏季研修会 *上記2件、中止	・前年度事業報告、決算報告、本年度事業計画、予算案等 * 総会については、総会議案を各学校に配布し、FAX返信による書面議決とした
例年10月中旬～下旬に開催	合同作品展 運営委員会 *本年度中止	・前年度からの引継ぎ事項の確認 ・係分担等
例年1月中旬～下旬に3日間実施	合同作品展 *本年度中止	・各学校の幼児児童生徒の作品展 * 延岡地区での開催中止決定後に西臼杵地区での開催を模索したが、最終的に中止を判断
例年2月上旬に開催	合同作品展 反省会 *本年度中止	・係からの反省 ・次年度に向けて
3月1日（月）	第2回事務局会	・活動総括と次年度の活動計画について ・次年度事務局の確認及び引継事項の確認

3 本ブロック部会の成果と課題

本年度の総会は、上記「活動内容」にある通り、新型コロナウイルス感染拡大の影響から中止とした。部会所属校に総会議案を事前配布し、書面議決をとる形で成立させることとなった。夏季研修会は、平成30年度に実施した「ワークショップ型授業研究会」を前回同様いくつかの分科会に分ける形で企画する予定だったが、同じく中止とした。

合同作品展は、例年延岡市内の会場において実施されており、約500名の来場者がある地域に根ざした取組である。しかし、本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、延岡地区小中特研が、本年度の開催を見合わせる旨の結論に達し、西臼杵地区小中特研と延岡しろやま支援学校、同高千穂校における合同作品展の形で、会場を西臼杵地区に移して実施する方向で検討を重ねた。最終的には、西臼杵地区小中特研も延岡地区と同様に本年度の開催を見送るとの結論に達したため、本年度の合同作品展は中止とした。

ブロック部会としては、本年度十分な活動ができなかったことを受け、次年度に向けて夏季研修会のリモート開催等の方向性を探りながら、県北地区の特別支援教育の推進にしっかりと寄与できるよう努力していきたい。